

科目名	国語 Japanese	科目コード	00010
-----	----------------	-------	-------

学科名・学年	全学科・1年
担当教員	黒田 知子・堀口真利子（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・3単位
開講時期・時間数	通年，90時間【内訳：講義84，その他6】
教科書	『高等学校国語総合』，第一学習社
補助教材	『クリアカラー国語便覧』，数研出版 『音と形で覚える漢字の練習』，明治書院
参考書	国語辞典，古語辞典，漢和辞典など

【A. 科目の概要と関連性】

中学校での学習を発展させ、国語を正しく理解し、適切に表現するための力を養う。3単位中おおむね2単位を現代文・国語表現に、おおむね1単位を古典に当て、1年間の学習を通して、思考力を向上させ、情操を豊かにし、伝え合う力を高める。また、言語文化の諸相に触れることによって、自らの世界観を広げ、言語生活を充実させる態度を育てる。

○関連する科目：国語（1～4年），文学I（4年後期），日本言語文化（専攻科1年後期）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①文章の叙述に即して内容を的確に読み取る力を身に付ける。	30%	(a1)
②さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げる。	30%	(a2)(b1)
③常用漢字の読み方・書き方に習熟する。	10%	(b2)
④文語のきまり、漢文訓読のきまりなどを理解する。	10%	(a1)(b1)
⑤国語表現の特質を理解し、言語表現への関心を高める。	20%	(b2)

【C. 履修上の注意】

平生の予習・復習を欠かさないことが何よりも重要である。授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に、古文・漢文については、音読の練習を欠かさないこと。また、辞書や参考書を活用する習慣を身に付けること。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（80%）【内訳：前期中間20，前期末20，後期中間20，後期末20】
- その他（20%）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

週	内容	備考
1	随想の読解 (1)	
2	随想の読解 (2)	
3	小説の読解 (1)	
4	小説の読解 (2)	
5	古文の学習 (1)	
6	古文の学習 (2)	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	評論の読解 (1)	
9	評論の読解 (2)	
10	詩歌の読解 (1)	
11	詩歌の読解 (2)	
12	漢文の学習 (1)	
13	漢文の学習 (2)	
14	国語表現の実践 (1)	
—	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

● 後期

週	内容	備考
1	小説の読解 (3)	
2	小説の読解 (4)	
3	小説の読解 (5)	
4	古文の学習 (3)	
5	古文の学習 (4)	
6	古文の学習 (5)	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	評論の読解 (3)	
9	評論の読解 (4)	
10	評論の読解 (5)	
11	国語表現の実践 (2)	
12	漢文の学習 (3)	
13	漢文の学習 (4)	
14	漢文の学習 (5)	
—	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	